



今井あさと

# 志木の一市民

一市民の目線で志木市政をみつめるブログ

<https://shikilove.net>



## 香川市長の政策判断能力に疑問あり！

### ●疑問1 暗礁に乗り上げてしまった新複合施設建設計画

#### 旧市民会館パルシティ事前解体は市長の政策判断ミス

市は今年1月、新複合施設建設業者を募集したものの1社しか応募がなく、その1社も途中で辞退。結局建設業者が見つからないまま計画は暗礁に乗り上げ、しかも事前に旧市民会館パルシティを解体してしまったことで市民会館を必要とする市民が長期にわたり行き場を失う事態になってしまいました。今年、建設業界ではいわゆる**2024年問題**（下記コラム参照）により人手不足が加速することは

かねてから広く知られていました。しかし市長はこれを甘く見て建設業者が見つからないほどではなからうと高をくくって旧市民会館を事前に解体。旧市民会館は老朽化していたとはいえ、すぐにも利用不可能になるほどではありませんでしたので、もし解体していなければ、旧市民会館を活用しつつ2024年問題が落ち着くまで様子を見ながら再度募集すれば済む話でした。市長は私たち一般市民

よりはるかに多くの情報を持ち、市役所スタッフによる情報収集も可能であったのに、建設業界の2024年問題を正しく理解することができずに招いた失態。つまりこれは不慮の事態ではなく、**市長の政策判断ミス**、市長の失政であると言わざるを得ません。あるいは**市長自身の情報処理能力の低さ**を露呈してしまったとも言えるかもしれません



#### 市長の失政の尻拭いに税金1500万円！

6月市議会は**新複合施設の発注方式再検討支援業務**として補正予算1500万円を可決。これは建設業者募集失敗を受け、どうしたら建設業者が見つかるのか？その方法を外部のコンサルタント会社に調べてもらうという業務で、内訳は市場調査に500万円、発注方式の検討に1000万円。もはや志木市は**自力**では市民会館の発注一つできな

い体たらく！設計や建設を専門業者に頼むというならわかりますが、発注を自力でできずに1500万円も使う自治体って他にあるのでしょうか？この**税金1500万円**、このまま建設の目処が立たないと来年の**市長選挙**に響くのでとにかくさっさと建設業者を見つけたい、市長が責任を放棄し、**民間丸投げ**でなんとかしてもらおうという責任逃れのための費用なのでは

ないでしょうか？市長はこの間ふれあい号廃止や国民健康保険増税その他福祉をゴリゴリ削ってききましたが、その度に市にはお金がないと言ってきたのに、こういうお金はポンポン出てくるのが不思議でなりません。また市長の責任を問いもせず、こういう予算をやすやすと通してしまう**市長のいいなり議員だらけの市議会**のあり方にも疑問を禁じ得ません

#### <建設業界の2024年問題>

- ・2019年、働き方改革関連法が成立。残業規制や週休2日の徹底など時間外労働の規制を強化。中小零細企業の多い建設業・運輸業には労働環境改善のために5年間の猶予期間が設けられた。しかし大企業が下請けを締め付ける業界の体質は変わらなかったため中小零細企業の労働環境改善も進まなかった
- ・2024年、業界の体質改善が進まないまま猶予期間が終了。建設業・運輸業でも時間外労働の規制が強化され人手不足が急激に進行。つまりこれは5年前からこうなるとわかっていた問題であり、志木市は一番困難な時期に建設を計画して案の定失敗



空き地のままの旧市民会館跡地  
雑草の草刈り費用は310万円

香川さん、選挙目当てにカパルとおちゃらけた動画作ってるヒマあったらもっと真剣にこの問題に取り組んでください！

## ●疑問2 公園の水飲み場を撤去する非人道的な愚策

今年5月、いろは親水公園左岸の水飲み場が復活。これは2年前のリニューアルで市が撤去したものの復活=再設置。熱中症で死者まで出ている時代に公園の水飲み場をわざわざ撤去するなど常軌を逸した愚策ですが、その目的が中洲に作ったカフェのドリンク売上げのためだとしたら本当に恐ろしい話。これが香川市長の言う「民間活力の活用」なののでしょうか？私

はかねてからこの問題を取り上げ、意見広告を全戸配布し今年の市議選の選挙公報でも批判を展開。市民の批判が高まる中、市長は水飲み場を再設置せざるを得なくなりました。公園の水飲み場をわざわざ壊して2年後に再設置に追い込まれる。この市長の愚行で無駄になった税金は145万円！まったく馬鹿げた話です。私は中洲の水飲み場設置も求めましたがま

ともな理由の説明もないまま市長はこれを拒否。この問題に発言する議員が市議会に一人もいないのも不思議。市民の健康より市長への忖度優先なののでしょうか？



## ●疑問3 なぜ作る前に気づかない？流れ橋が大変なことに！

右の写真は今年3月29日のいろは親水公園の流れ橋。23・24日のさくらフェスタで架設後、悪天候が続き撤去できないまま28日からの大雨で水没。両側のロープに漂流物が絡んで水圧を受け48本の赤い支柱がすべてなぎ倒され、橋桁の一部も持ち上げられ、両岸に2本ずつあるステンレスの太いポールもへし折られており大変な水圧がかかっていた模様。これは治水上も良くない事態。ここはしばしば増水し、こんな場所に橋を作ればこうなることは地元なら誰もが知っていること。市長はそんなこ

とも気づかず橋を作ったのか？このように雨に弱く滅多に架けられない橋のために使った税金3537万円！このお金をもっと有効に使う知恵は市長にはなかったのでしょうか？



川が増水し水没直前の流れ橋



水没後、水がひき始めた時の流れ橋の惨状

※これは志木市政を考える一市民のブログご紹介のチラシです。他にも多数の記事がありますのでぜひブログをご覧ください



志木を愛する一市民

# 今井あさと

まもろう憲法9条！

ブログ



2024年9月 Vol. 3

埼玉県志木市本町2-9-48

Twitter(X): @imai\_asato

YouTube



ホントに  
無所属

メール

imai.asato@shikilove.net

<https://shikilove.net>